

立した。そのほかパリではヴェルディと再三会っていて、ヴェルディ、マイヤベアに関する新聞記事、書籍等を翻訳、ヴェルディへ日常的に情報を提供していた。

彼女はフランス語、英語、ドイツ語を流暢に操り、ヴェルディの事務的な知的補佐をした。また、オペラの題材探しで世界の文学書を読破し、文学的知識等教養の豊かな人である。

1847年2月フィレンツェで「マクベス」初演に向け、打ち合わせと練習の為ヴェルディが来ていた。その時、ヴェルディにフィレンツェへ帰ってもよいとパリから手紙を出している。一つはヴェルディとの愛を確信したこと。もう一つはミラノ・スカラ座支配人B・メレッリとの間に生まれた男子カミリーノと久しぶりに会うことであった。カミリーノはフィレンツェの知人へ養子に出し彫刻の勉強をしている。そして、カミリーノをヴェルディに紹介、ヴェルディ理解のもと、これから長い同棲生活が始まる。(凡そヴェルディとの関りで「イエルサレム」の初演時まで記した。)

### 研修会「イエルサレム」の教材

ジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇場管弦楽団 指揮ミッシェル・ブラッソン  
合唱指揮チーロ・ヴィスコ  
演出ピエール・ジョルジュ・ケイ

#### 主な配役

トゥールーズ伯爵 (第一回十字軍の長) . . . . . アラン・ファンダリー  
エレーヌ (トゥールーズ伯爵の娘) . . . . . ヴェロニカ・ヴィッツラロエル  
ロジェ (トゥールーズ伯爵の弟) . . . . . カルロ・コロンバーラ  
ガストン (ベアーヌ子爵、エレーヌの恋人) . . . . . イヴァン・モミロフ  
ローマ教皇特使、遠征に同行、教皇の代理権を有す・カルロ・ディ・クリストフォロ  
イゾール (エレーヌの侍女) . . . . . フェデリーカ・ブラガリア  
レーモン (ガストンの従者) . . . . . ジョルジョ・カシアツリ  
ラムラ (パレスチナ) の首領 . . . . . レダ・エル・ヴァキル

2000/11/18 約2時間45分

#### あらすじ

##### 第一幕

\* トゥールーズ伯爵邸内 . . . 今夜もガストンとエレーヌは秘かに会い、愛を温め合い、後朝 (きぬぎぬ) の別れを惜しみつつガストンは去る。翌朝、伯爵は遠征前、ガストンと和解し娘を妻として与えることを約束する。ガストンも忠誠を誓う。従って両家は和睦するが、側で聞いていた伯爵の弟ロジェもエレーヌを愛していて激怒、ガストンに殺意を抱く。そこへローマ教皇特使が現れ、トゥールーズ伯爵に第一次十字軍の長を命じる。伯爵は喜んで拝受。伯爵はガストンに、共に遠征すべく自分が着ていた十字軍のマントをガストンに与え、ふたりは礼拝堂へ。嫉妬に狂ったロジェは傭兵にマントを着ていない男を襲撃、暗殺を命じる。暫くして傭兵は暗殺実行、事件が起こる。瀕死の重傷を負った兄伯爵が礼拝堂から出てくる。弟ロジェは驚愕。咄嗟に捕まった傭兵の耳元で暗殺を命じたのは奴 (ガストン) だと言え。傭兵は言われたまま、ガストンに向かって指を差した。人々は驚く。そしてガストン